

2020年1月31日

台湾日語教育学会
常務理事 落合 由治 様

公益財団法人日本漢字能力検定協会
常任理事 八田 香里

前略

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素はB J Tビジネス日本語能力テスト(以下「B J T」) 事業に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

この度、貴会よりお問合せをいただきました下記2点につきまして、事実確認ならびに今後の方向性が整いましたので、ご報告いたします。確認に時間がかかりましたことお詫び申し上げます。

草々

記

1. B J Tアカウント作成時および受験会場検索時の台湾の国名表記について

B J Tは、2017年度からC B T方式 (computer based testing) を採用している。従来の紙ベースのテストを永続的に続けて行くことに課題を感じ、検討を重ねた結果、複数社の中から世界180カ国で450を超える資格試験配信サービスを行う Pearson VUE 社と業務提携を結ぶこととなった。現在は、同社のテスト配信プラットフォームよりB J Tを世界各国へ配信している。

同社へ本件について確認したところ、国名表示については ISO 3166 国コードに従い「Taiwan, China」としていることが判明した。

当協会より、同社へ国名表記の変更を申し入れたところ、同社は ISO に準拠して事業の運営管理を行っており、ISO 認証の保持が契約条件になっている契約も多数あるため、ISO 認証に影響を与える変更の対応はできない旨、英国本社より回答があった。

2. B J T受験申込画面における言語表示について

現在、「中文」を選択すると簡体字のみで、繁体字表示が存在していない。Pearson VUE 社は、世界全ての言語に対応しておらず、今のところ対応言語は、英語・フランス語・アラビア語・中国語(簡体字)・韓国語・日本語である。

当協会より、同社へB J T申込ページの繁体字表示を強い要望として申し入れた。同社内で検討をされ、繁体字表示ページを追加するという回答を得た。早速、両社で協力して制作準備を進めることとするが、多岐にわたるページが存在するため、すべてのページが整うには相応の時間が要することをご了承願いたい。

以上

当協会としてご要望には可能な限りすべて応えたいと考えております。今回の件で申しますと、申込画面における言語表示については、繁体字を追加することで貴会の要望に沿うことができます。一方、国名表記につきましては、Pearson VUE 社が ISO に準拠していることから当協会として力が及ぶ範囲ではございません。

当協会といたしましては、貴会のご要望に応える一案として台湾におけるB J Tの配信停止も検討しました。しかしながら、ビジネス日本語を学び測るテストとして活用されている多くの受験者の方へ受験機会を無くすことは最善の策とは思えず、引き続きC B T方式にてB J Tを提供してまいりたいと考えております。

貴会の要望にすべてお応えすることは叶わず心苦しい限りではございますが、事情ご賢察のうえご寛恕賜りますよう、お願い申し上げます。